氏名	川﨑　柚華
題名	自分の手で幸せを

私はこれまで政治について深く考えたことはほとんどありませんでした。正直に言えば、「政治」と聞くと難しくて堅苦しいものという印象が強く、自分の生活とは遠い世界の話だと感じていたからです。しかし、今年 7 月 20 日に執行された参議院議員選挙をきっかけに、その考えが少しずつ変わり始めました。

選挙期間中は、学校でも友達との会話や、家族との食卓での話題に参議院選挙がよくあがりました。今までは大人たちが選挙の話をしていても自分には関係がないと思って聞き流していましたが、今回の選挙では自然と耳を傾けるようになりました。周囲の人が「どの政党がどういうことを言っているか」「もし今投票できるなら誰に投票するか迷いそう」と話しているのを聞くうちに、私自身も政治に興味を持つようになったのです。

私はまだ 18 歳になっていないため、実際に投票所へ行って票を投じることはできません。それでも、より身近に政治を感じてみたいと思い、実際に立候補者の公演演説会に家族と足を運んでみました。演説会では、候補者が地域の課題や将来の政策について熱心に語っており、テレビや SNS で見る断片的な情報とは違って、候補者の考えや人柄が直接伝わってきました。演説会に参加したことで、「政治は難しい」という印象が少しずつ薄れ、「自分の生活に直結している大切なものなのだ」と実感することができました。これはとても貴重な経験だったと思います。

今回の参議院選挙では、ニュースでも取り上げられていたように、若者の投票率が前回より上がったそうです。その背景の一つには SNS の存在があるといわれています。実際、私自身も Instagram や TikTok で選挙に関する投稿や「選挙に行こう」という呼びかけの動画をよく目にしました。SNS は若者が普段からよく利用するものであり、そこで選挙についての情報が流れてくることで、「選挙が自分にも関係あることなんだ」と気づくきっかけになった人は多いと思います。

一方で、SNS で見かけた投稿の中には「とにかく〇〇党に入れとけばいい」といった、極端で単純な意見も少なくありませんでした。中にはそれを鵜呑みにしてしまい、本当に深く考えないまま投票先を決めた人もいたのではないかと思います。確かに、SNS は情報を得やすい便利な場ですが、同時に偏った意見や根拠の薄い情報も簡単に広がってしまいます。政治は自分の将来や生活に直接関わるものです。それを誰かの一方的な意見に流されて決めてしまうことは、本当に良いのだろうかと疑問に思いました。

だからこそ、SNS で興味を持つことを第一歩とした上で、次に大切なのは「自分の目で確かめること」だと感じます。候補者の演説を直接聞いてみたり、公式な資料を読んだりす

ることによって、自分なりに判断できる力を身につける必要があります。私自身も演説会に参加したことで、SNSやニュースで得た印象と実際に見聞きした内容が違うことに気づきました。やはり自分の足で動くことが大切なのだと思います。

また、政治や選挙について正しい知識を身につけるためには、学校教育の中でもっと学ぶ機会が必要ではないかと考えます。たとえば、各政党が掲げる政策や活動の特徴を学んだり、模擬選挙を行って実際に投票の流れを体験したりすれば、SNSの偏った情報に流されにくくなると思います。そうすることで、自分が本当に望む生活に近づくための一票を投じることができるのではないでしょうか。

私はまだ投票権を持っていませんが、今回の選挙を通じて「政治は自分には関係ないことではない」と強く感じました。これから 18 歳になり実際に投票できるようになったときには、周囲や SNS に流されるのではなく、自分で調べ、考え、納得のいく一票を投じたいと思います。そして、私と同じように「政治は難しそう」と感じている若い世代の人たちにも、まずは一度演説会に行ったり、選挙に関する正しい情報に触れたりしてほしいです。そうすれば、若者の政治参加はもっと広がり、日本の未来を自分たちの手でつくっていけるのではないかと思います。